

環境省「平成 26 年度除染技術実証事業」採択

バイオコークス技術による除染廃棄物減容化実証事業開始

10 月 22 日（水）から福島県川俣町山木屋地区にて

近畿大学（東大阪市）と中外炉工業株式会社（大阪市中央区）は、「バイオコークス化による放射性物質に汚染された有機物の減容・安定化の実証と減容化による輸送効率の向上と安全性及び経済性の検証」を、平成 26 年（2014 年）10 月 22 日（水）から実施します。本事業は環境省「平成 26 年度除染技術実証事業」に採択されており、中外炉工業株式会社が申請し、近畿大学がバイオコークスに関する技術協力、株式会社木内計測が放射線管理に関する協力をしているものです。

【本件のポイント】

- 環境省「平成 26 年度除染技術実証事業」に採択され、10 月 22 日（水）より実証事業を開始
- 本実証事業において被災地で汚染バイオマスを用いるのは今回が初めて
- 中間貯蔵施設への運搬時の輸送効率の向上、安全性及び経済性の向上への貢献を目指す



バイオコークス化前後の稲わら

【本件の概要】

福島県川俣町から「震災復興アドバイザー」として委嘱された本学が“オール近大”川俣町復興支援プロジェクトの除染支援として取り組んできた、バイオコークス技術による除染廃棄物減容化事業が、環境省「平成 26 年度除染技術実証事業」に採択されました。

平成 26 年（2014 年）10 月 22 日（水）より、避難指示解除準備区域である福島県川俣町山木屋地区で本実証事業をおこないます。現地では放射性物質が付着した木、草、葉等の植物の供給を受け、破碎から乾燥、バイオコークス化までの一連の作業を実施。これまでも研究室での試験を通じて有効性を確認してきましたが、被災地で汚染バイオマスを用いた実証実験は今回が初めてとなります。

本実証事業を通じ、中間貯蔵施設への運搬時の輸送効率の向上、安全性及び経済性の向上に貢献できるものと考えています。

【実証事業概要】

- 日 時：平成 26 年(2014 年)10 月 22 日(水)～30 日(木)
- 場 所：川俣町山木屋公民館前道路脇空地(福島県伊達郡川俣町山木屋字小塚5-8)
- 内 容：川俣町山木屋地区で収集された汚染樹木枝葉を圧縮成型・減容化し、バイオコークスの製造の実証をおこない、あわせて次の点について検証、評価します。
 - ・仮置き場から中間貯蔵施設への輸送に係る安全性、効率性、経済性の検証
 - ・中間貯蔵施設での減容処理までの期間の安定保管に係る安全性の検証
 - ・汚染廃棄物の条件(形状・水分・異物混合率)と成形物品質であるバイオコークスの関係(見かけ比重、冷間圧縮強度)および輸送時の破損有無を確認し、減容化による輸送効率の向上、安全性および経済性を評価



バイオコークス製造装置

